

# TPA



## Newsletter

## Vol. 30 January 2007



新年明けましておめでとうございます  
 本年も、昨年に引き続きTPA・JTECS事業に、ご支援・ご協力賜りますよう、  
 よろしく願い申し上げます。  
 また、関連機関の皆様、会員の皆様におかれましても、この2007年が  
 実り多い年になりますことを、心よりお祈り申し上げます。



### 最近の活動

#### ◆ 第5回5S大会 ◆

2006年11月16-17日、第5回TPA 5S大会” Thailand 5S Award 2006”を開催いたしました。大会では、今年度最終審査通過企業5社ならびに、過去の優勝企業3社のプレゼンテーションの他、JIPMソリューション 中村伸悟 海外事業本部海外営業部長による講演「Human Development though TPM」「オフィスの5S」や、サムバッタナウィリヤジャーン法師による「5Sとは五戒である」など盛りだくさんイベントが実施されました。5S活動推進のヒントを求めて485名が参加しました。



パイシット名譽会長による開会挨拶



#### Best of Best賞 (過去の優勝企業より)

Diamond Award	Thai Arrow Products (Pitsanulok Factory)
Consistent Award	Pioneer Manufacturing (Thailand)
Consistent Award	Auto Alliance (Thailand)



#### 5S賞

Golden Award	NOK Precision Component (Thailand) (ベストブース賞)
Silver Award	Banmee Hospital
Silver Award	C. P. Seven-Eleven
Silver Award	European Bakery
Silver Award	European Food
Popular Award	C. P. Seven-Eleven



中村氏(右)



強力な応援団



副社長も共に



参加企業代表

#### ◆ 泰日工業大学設立認可証授与式&記者会見 ◆



11月23日、泰日工業大学開校記者会見を行いました。記者会見にはテレビ、新聞、雑誌など報道関係者43社(うち日系報道関係者は13社)が取材に訪れました。

記者会見では、ウィチット教育省大臣より、スポン大学評議会会長へ、泰日工業大学設立許可証が授与されました。日本側からは、JCC坂野会頭、佐々木副会頭、山田日本大使館公使、JETRO加藤所長に出席いただきました。

泰日工業大学のクリサダ初代学長は、「泰日工業大学は、日系企業との連携による実践教育と日本の大学との協力などを通じて、将来の新たな日タイ友好のシンボルとして活躍できるような大学としたい」と抱負を述べました。



◆ TRIZ研修団 ◆



富士写真フイルム

10月9日～13日、TPA主催にてTRIZ研修団24名が、日本におけるTRIZ実践の現場を視察しました。㈱日立製作所 電力グループ 電力・電機開発研究所、富士写真フイルム㈱足柄工場、産学官技術交流フェアの視察に加え、産業能率大学、日産自動車㈱からTRIZ事例の講義を頂戴いたしました。



日立製作所

◆ KINGFISHER HOLDINGS LIMITED より泰日工業大学へ寄付 ◆

11月2日、KINGFISHER HOLDINGS LIMITEDより、泰日工業大学へ奨学金100万パーツのご寄付をいただきました。



◆ TPM 研修団「Best Practices in TPM」 ◆



TCM

11月11日～18日、TPA主催にてTPM研修団30名が、日本におけるTPM活動を学びました。日本プラントメンテナンス協会、TCM㈱竜ヶ崎工場、昭和電工㈱秩父事業所、日鍛パルプ㈱本社工場を視察させていただき、からくり改善くふう展では、日本のモノづくりの現場から生み出されたからくり改善の現物に触れ、大変有意義な研修となりました。



昭和電工



◆ TPM特別コース『成果を生むTPMへの道』 ◆



11月24日、TPAとJIPM-Solutionsとの共催にて、JIPM-Solutions有名コンサルタント鈴木俊氏、守田義昭氏による講義ならびにタイにおけるTPM実践優秀工場（ユニリーバ ミンプリ工場、日産パワートレーン）の見学から成る特別コースを開催しました。TPMIによる企業体質の強化を目指す88名が、TPMで成功するための秘訣を学ぶため参加をしました。



◆ JAIMA & TPA共同セミナー ◆

11月23日、24日、JAIMA（社団法人 日本分析機器工業会）とTPAにて共同セミナーを実施しま

◆ 寄付 ◆

12月4日、洪水の被害にあったアントーン県 パーモーク郡 サ・ケーオ寺 孤児院の子供たちに日用品の寄付をいたしました。



◆ Thailand TRIZ Forum ◆

12月8日、官民機関、教育機関など関係機関から20名が参加し、タイにおけるTRIZ普及のため、今後の進め方や協力体制について話し合う、第1回“Thailand TRIZ Forum”が開催されました。





◆ 『労働保護法』 セミナー ◆

12月13日、元中央労働裁判所陪審員で労働省顧問を講師にお招きし、日本人管理者の方々を対象に、労働保護法のコースを開催しました。

◆ サワディーピーマイ2008 ◆

お世話になった関係機関へ年始のご挨拶にお伺いさせていただきました。



JCC



AOTS



TOSHIBA



◇ Welcome ! 最近の 主なご来訪者 ◇

◆ 梅原仙台市長 ◆

11月3日、仙台市梅原市長、東北大学、東北工業大学、東北学院大学が、TPAを訪問されました。

東北大学、東北工業大学、東北学院大学など仙台市の大学と、泰日工業大学との今後の協力関係構築推進に向け、意見交換を実施しました。



◆ 大阪工業大学 ◆

11月23日、大阪工業大学がTPAを訪問視察され、今後の泰日工業大学との協力について意見交換しました。

◆ 九州大学 ◆

11月27日、九州大学より、柳原副学長ほか、TPA及び泰日工業大学を視察され、今後の泰日工業大学との協力関係締結について意見交換を行いました。

◆ 2006年の主な出来事 ◆

◆ 1月24日 泰日工業大学 譲入れ式 ◆



小林大使によるご挨拶

2007年6月の開校予定の泰日工業大学の譲入れ式を開催しました。小林大使閣下のご臨席のもと、TPA創立責任者故ソンマイ・フントラクーン氏夫人ソムシー女史、JCC白崎会頭ほかJCC理事の方々、小野日本人会会長にご出席いただきました。



◆ 1月24日 東京工業大学 三木副学長他 ◆

東京工業大学より、三木副学長がTPAを訪問視察されました。

◆ 2月16日 TPA・タイエネルギー省共催 国際フォーラム ◆

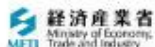
TPAならびにタイエネルギー省共催にて、国際フォーラム「エネルギー危機をどう生き残るか：タイのエネルギー政策と日本の経験」を開催しました。（後援：経済産業省、JETRO）日本からは、経済産業省 資源エネルギー庁 三木健 省エネルギー対策課長、財団法人省エネルギーセンター 牛尾好孝氏にお話しいただきました。



三木健氏



牛尾好孝氏



◆ 2月6日－9日 日本人専門家による特別セミナー「生産現場の目で見える管理」 & 「目で見える経営」 ◆

中部産業連盟より、村山明氏主席コンサルタントを講師にお招きし、「目で見える経営」活動。ならびに、「目で見える管理」活動の進め方を、豊富な事例を元に学びました。



◆ 2月12日 西村康稔 衆議院議員 ◆

西村議員がTPA及び泰日工業大学を訪問視察されました。



◆ 2月14-17日「The Program on Strategic Business Management with TQM」 ◆  
セミナー

AOTSと共催で、特別セミナー アジアの国々のためのTQMセミナーを開催いたしました。セミナーには、カボネジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム、ブルネイの9カ国から25名が参加しました。



◆ 2月21-23日 日本人専門家による特別セミナー「最新実用TRIZ」研修 ◆

産能大学 経営開発本部TRIZセンターより、黒澤楨輔TRIZ担当部長をお招きし、TRIZの、最新思考支援ツールの特性と使い方とならびに問題解決プロセスの構造とその使い方についてのセミナーを実施しました。



◆ 2月24日 小林秀明 駐タイ日本国大使閣下 ◆



小林大使閣下がTPAを訪問視察されました。

◆ 3月14-17日 “Thailand Quality Prize 2006” & ◆  
“TPA Automation Kaizen Award”



Thailand Quality Prize 2006入賞チーム

第23回QC大会ならびに、第1回TPA Automation Kaizen Award（日本小型自動車振興会 後援）を開催いたしました。応募96チームより選抜された18チームが自慢の成果を競い合いました。

また、第1回となるAutomation Kaizen Awardでは、13作品が発表されました。

大会には、4日間を通し、700名あまりの参加がありました。



TPA Automation Kaizen Award入賞チーム



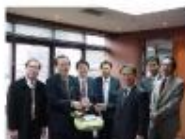
◆ 5月20-21日 TPAロボットコンテスト ◆

第13回TPAロボコン大会”TPA Robot Contest Thailand Championship 2006”を開催しました。タイ全国より、94チームが、今年のテーマ”ツインタワー・ビルダー”に挑みました。2006年大会では、他にロボットのバット力を競う「PLC Competition」、高校生ロボコン：TPA Robot Grand-prix Junior 2006における迷路競技「Robo Fire Fighting」とダンスとサッカーの技を競う「Robo Dancing & Robo Soccer」などの競技ならびに各校による応援合戦が繰り広げられました。



◆ 5月25日、JCC坂野会頭表敬訪問 ◆

5月25日、丸紅泰園株式会社へ、JCC坂野会頭を表敬訪問し、TPA名誉顧問にご就任いただきました。



◆ 5月27日 総会 ◆

2006年定時総会を開催しました。2005年度事業・会計報告、2006年度新規事業報告、泰日工業大学プロジェクト進行状況報告などを執り行いました。



◆ 5月30日 JCC坂野会頭 ◆

5月30日、JCC坂野会頭がTPAを訪問されました。2007年6月開校の泰日工業大学設立準備のため、JCC内に新たに発足した泰日工業大学委員会との協力により、泰日工業大学設立準備のためのTPA-JCCステアリングコミッティも開催致しました。



◆ 6月15日 EATATEプロジェクト ◆

タイ国におけるエンベデッドシステム技術者の育成のためのプロジェクト：Embedded Software Training alliance for Thai Engineer (EATATE Project)のオープニングセレモニーを開催しました。  
(TPA・タイ国エンベデッドシステム協会 (TESA) 共催、日本貿易振興機構 (JETRO) 後援)



◆ 6月17日 スピーチコンテスト ◆

第25回ソーソー泰日スピーチコンテストを開催いたしました。全国49名の申し込みの中から選抜された19名が、日頃の成果を発揮し見事なスピーチを披露しました。



◆ 7月19日 三井住友銀行より泰日工業大学への備品・機材寄贈 贈呈式 ◆



三井住友銀行よりPC、机など備品、機材を泰日工業大学へご寄贈頂きました。

◆ 8月28日 経済産業省 石黒審議官 ◆

経済産業省より石黒審議官がTPAを訪問されました。



◆ 9月14日 住友商事より泰日工業大学へ寄贈 ◆

住友商事よりPCを泰日工業大学へご寄贈頂きました。



◆ 9月22日、三菱商事より泰日工業大学へ寄贈 ◆

三菱商事より、泰日工業大学へPCをご寄贈いただきました。



◆ 9月26-29日 日本人専門家による特別セミナー「商品企画とTRIZ」 ◆

産能大学 TRIZセンターより黒澤横輔 TRIZ担当部長をお迎えし、コンテンポラリーTRIZによる商品企画セミナーを開催いたしました。



◆ 10月4-5日 第2回 “TPA Automation Kaizen Award” 大会 ◆



第2回TPA Automation Kaizen Awardを開催しました。大会には215名の参加があり、現場工学研究所 吉田秀一代表取締役の特別講演「Kaizen Concept」「KOBETSU KAIZEN (Kaizen for TPM)」に加え、最終4社7作品のプレゼンなどが行われました。



吉田氏

◆ 10月6日 日本人専門家による特別セミナー「LCAとからくり改善」 ◆

現場工学研究所 吉田秀一代表取締役を講師にお招きし、LCA (Low Cost Automation) とからくり改善についてのセミナーを開催いたしました。



◆ Campus Tour ◆



TPA語学学校出版部では、タイの未来を担う子供達へ読書や日本への興味を深めてもらうため、展示やゲームを通して本や日本を身近に感じてもらう、小・中学校へのイベント “Campus Tour” を行いました。



◆ お知らせ ◆



TPA日本語版ホームページ  
<http://www.tpa.or.th/japanese>





## ◆ Thailand Quality Prize 2007 ◆

2007年3月6-9日、第24回QC大会“Thailand Quality Prize 2007”を開催いたします。  
3月6-8日は、各部門[Junior QC Prize (発表内容が5ストーリー以下)、QC Prize (発表内容が5ストーリー以上) サービス部門/製造部門]のプレゼン発表。最終日の9日は、KANO's DAYとして、品質管理の権威狩野紀昭氏をお招きし、特別セミナー“Strategy in kano's House for bussiness development to international”を開催いたします。

QCサークル活動の推進・向上のため是非ご参加下さい。

会場 Royal Golden Jubilee Building (ニューペブリ通りソイ・スウィチャイ)

参加費 TPA会員：1,500 Baht / 一般：1,800 Baht (一日分料金)



担当連絡先 : Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81

## ◆ Education & Culture Festival 2006 ◆

ソーソートー恒例カルチャーフェスティバルを開催いたします。  
各国の文化や教育に関連した様々なイベントを準備しておりますので、お問い合わせの上お越し下さい。

コスプレコンテスト、ヒップホップ、風船アート、タイの伝統楽器の演奏、陶磁器の絵付け、着物の着付けショー、浴衣の試着、蓮人形作り、フルーツカービングやタイ料理の実演、華道、茶道、中国きり絵、折り紙、書道に漫画・アニメソングで習う英語 など

日にち 2,007年1月27日(土)

時間 9:00~16:00

会場 泰日経済技術振興協会(TPA) スクンビット ソイ29

担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 41, 42



## ◆ 新規会員特別プロモーション ◆

2007年2月28日までに新規にご入会いただいた企業様に、特別プロモーションとして特製ショッピングバックと教本「コンピュータのトラブル解決！」を付けいたしております。

まだTPA会員にご入会いただいてない企業各位におかれましては、スタッフへの教育・研修にTPA事業を有効にご利用いただくため、入会をご検討下さい。

会員タイプ	入会金	年会費
法人会員	200 Baht	3,000 Baht



また、会員企業の皆様に置かれましては、会員資格の有効期限は1年ですので、1年ごとの更新をお願い申し上げます。

担当連絡先 : Tel. 0-2259-91150 (直通) 0-2258-0320-5 Ext. 1112, 1115 member@tpa.or.th

★ 今後の予定 ★

★ 語学部より ★

◆ スクンビット本校タイ語コース ◆

コース	受講日	時間	受講料 (n´-r)	申込期間	開講期間
初級	月～金	9:00～11:30	6,800	1/13～2/11	2/19～4/20
"	"	"		2/12～3/9	3/12～5/14
中級	月・水・金	9:00～11:30	6,800	11/19～3/8	3/12～6/20
初級【夜】	月・水・金	18:30～20:30	6,900 (6～7名)	11/2～2/1	2/5～4/23
タイ文字	火・木	9:00～11:30	6,100 (8～10名)	3/23✕	3/8～6/7
会話復習	月・水・金	"	5,400 (11名以上)	2/19✕	2/21～4/25
短期集中 タイ語会話	月・水・金	13:00～15:45	3,000	1/10✕	1/17～2/12
"	"	"	"	3/10✕	3/14～4/11

- \* これら前期コース終了後、引き続き後期コースが開校されます。(会話復習コース除く)
- \* 受講者が定員に満たない場合には、開校されない場合がございます。
- \* 「タイ文字」「短期集中タイ語会話コース」は、観光ビザの方でも受講できます。
- \* 初級・中級につきましては、観光ビザでは受講できません。日本国内の姉妹団体(財)アジア学生文化協会 ABKアジアセミナーを通してお申し込みください。就学ビザの取得ができ、午前コースへのお申し込みが可能です。 問い合わせ先: seminar@abk.or.jp

タイ語コース担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1640, 1641 e-mail : thschool@tpa.or.th

★ 出版部より ★

TPA書籍は、TPA Book Center (スクンビット本館、パタナカーン新館、ランシット分校)、及び一般書店にて販売されております。一部TPA出版物は、JCCでも、ご購入いただけます。また、クレジット決済も可能なオンライン通販も実施しています。是非ご活用下さい。

<http://www.tpabookcentre.com>

◆ 改善活動のための情報誌 『Creative & Idea Kaizen』 ◆

あなたの会社では改善活動をしていますか？  
実施はしているけれど、停滞していませんか？

TPA出版部では、この度、新情報誌「Create & Idea Kaizen」を発売いたしました。日本における製造業・サービス業の改善活動の紹介を通し、創造と質の向上をもたらす活動の推進をサポートするもので、日本HR協会発行「創意とくふう」を基に、図・イラストをふんだんに使った大変読みやすい、月刊改善情報誌です。改善活動推進に是非お役立てください。

定期購読料金： 500n´-r (税/送料込み) : 年間配本12冊  
5部以上のお申し込みの場合、1部を無償とさせていただきます



担当連絡先 : Tel. 0-2258-0320 Ext. 1750, 1740



## ◆ セミナー部より ◆

セミナー研修部は、人材育成機関として、30年以上に渡り活動を続けており、1999年4月にISO9001を取得し、経営管理、マーケティング、人材管理、生産管理、エネルギー、計測機器、コンピューター、物流・海運など20以上の分野にて、トータル・ソリューションの提供に努めています。

受講者のほとんどが社会人であることから、実践的な指導を重視した500以上のコースを提供しており、民・官の様々な機関・分野の経験豊富な講師陣を揃えています。

### サービス

1. 一般研修コース (Public Training)
2. 社内研修 (In-house Training)
3. 社内研修・フォローアップ (In-house Training and Follow up)
4. 通信教育センター：産業能率大学 (Distance Learning Center: SANNO University) ならびに産業教育学士単位転換事業
5. "Thailand 5S Award" "Thailand Quality Prize" "Kaizen Award" 等 大会の開催
6. 産業情報センター (Information Center)
7. 組織評価
8. 診断士育成
9. コンサルタント育成
10. その他特別事業



<http://www.tpif.or.th/>

## ◆ 日本人専門家による特別セミナー「Attractive Quality」◆

全ての事業にとって、品質は顧客の関心の高い必要条件の一つです。管理、生産、サービスの質の良し悪しが事業を左右します。

TPAでは、品質管理の権威 狩野紀昭氏を講師にお迎えし、特別セミナー「Attractive Quality」を開催いたします。競争に打ち勝つ強い企業作りのためセミナー参加をご検討下さい。

日時 2,007年3月10-11日 (土日)

会場 Amari Atrium Hotel

言語 日本語をタイ語に通訳

担当連絡先 : Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81

## ◆ 日本人専門家による特別セミナー 予告 ◆

セミナー研修部では、日本より専門家をお迎えし、顧客の声を製品やサービスの開発につなげるための手法「品質機能展開 (QFD; Quality function Deployment)」セミナー (2,007年3月15-16日開催予定) ならびに、TPM 8本柱のひとつで、不良の出ない条件設定とその維持管理、不良発生の可能性を予知事前に対策する不良ロスを防ぐ活動「品質保全」セミナー (2,007年3月29-30日開催) を開催いたします。詳細確定次第ご案内させていただきますので、お見逃し無く。

## 改善標語コーナー



改善は、一回で完成するものではない。  
ゆえに、一回の改善で満足する必要はない。  
また、別の視点から  
また、別の角度から  
また、別の発想からの  
改善、かいぜん、またはカイゼン  
といった継続的・永続的な改善が勧められる

KAIZEN = Continuous Improvement  
KAIZEN = 継続的・永続的な改善

日本H協会  
「カイゼンカレンダー」より

## ◆ 新刊翻訳書籍のご案内 ◆



『なぜなぜ分析徹底攻略ドリル』 P-0612 130 パーツ

(日本語オリジナル：JIPMソリューション発行、小倉仁志著)

わかりやすく効果が高い改善手法として、多数の企業で取り入れられているなぜなぜ分析ですが、実際に活用して効果を上げるためには、分析のコツをつかみ、トレーニングを重ねることが重要です。本書は、基礎的なことはすでに理解され、高度な分析力を身に付けたい方のためのトレーニング教材です。

赤川次郎の大偵探部シリーズ最新刊。



『純情可憐殺人事件』 L-06JU 175n×フ



『純情記念殺人事件』 L-08KE 175n×フ



『TPA Book Centerでは、技術書・語学教本・読本など書籍の他に、各種ポスター、ビデオなども販売しております。スクンビット店・ランシット店では土日も営業いたしております。また、配送サービスも承っておりますので、遠方の方もお気軽にご連絡下さい。



## ☆ 在タイ日本人のための、日・タイ クロスカルチャー講座 (第17回) ☆

(本講座は、TPA書籍「日本 クロスカルチャー タイ」から、内容を一部抜粋しております)

### 「王権の由来」

タイの憲法上、国王は国家の君主で三軍の元帥で、ご自身は仏教徒だが、あらゆる宗教の保護者となっている。

プーミポン国王は自ら国を統治しておられないが、内閣を通して行政権を、また国会を通して立法権を発揮させている。立法に関しては2度の拒否権を持っており、クーデタなど国にとって大事件の際に平穏無事に治める力を持っている。

タイの国王は昔、武士且つ統治者であった。スコータイ時代のラームカムヘン王など国民のことを思う王を国民が「父」と呼んで敬愛していた。

明治天皇と同じ時期のタイの国王ラーマ5世は奴隷制度を廃止し、教育制度などを整備してタイの近代化を図り、優れた外交政策を用いてタイの独立国家としての地位を保ってきた。

プーミポン国王は立憲君主制になってから初めての国王で、即位後全国を視察して回り、貧しい国民の生活向上のために2千以上のキングプロジェクトを発案し、それが軌道に乗ったところで政府の関係機関に任せてきたことなどで、「貧困と戦う農業王」として敬愛されている。

- \* 「日本 クロスカルチャー タイ」は、TPA Book Center各書店、バンコク日系書店、JCC、日本人会別館などにて好評発売中です。(199パーツ)  
上記の紹介例をはじめとする124の事例をもとに、日本人がタイで生活・仕事をする上での注意点、タイ人スタッフとの接し方、タイ社会のタブーなどを面白く解説した書籍となっています。
- \* 日本国内では、アジア文庫(神保町:電話03-3259-7530)にて取り扱っております。こちらも含めて、御利用ください。



## ◆ セミナー部より ◆

セミナー研修部は、人材育成機関として、30年以上に渡り活動を続けており、1999年4月にISO9001を取得し、経営管理、マーケティング、人材管理、生産管理、エネルギー、計測機器、コンピューター、物流・海運など20以上の分野にて、トータル・ソリューションの提供に努めています。

受講者のほとんどが社会人であることから、実践的な指導を重視した500以上のコースを提供しており、民・官の様々な機関・分野の経験豊富な講師陣を揃えています。

### サービス

1. 一般研修コース (Public Training)
2. 社内研修 (In-house Training)
3. 社内研修・フォローアップ (In-house Training and Follow up)
4. 通信教育センター：産業能率大学 (Distance Learning Center: SANNO University) ならびに産業教育学士単位転換事業
5. “Thailand 5S Award” “Thailand Quality Prize” “Kaizen Award” 等 大会の開催
6. 産業情報センター (Information Center)
7. 組織評価
8. 診断士育成
9. コンサルタント育成
10. その他特別事業



<http://www.tpif.or.th/>

## ◆ 日本人専門家による特別セミナー「Attractive Quality」◆

全ての事業にとって、品質は顧客の関心の高い必要条件の一つです。管理、生産、サービスの質の良し悪しが事業を左右します。

TPAでは、品質管理の権威 狩野紀昭氏を講師にお迎えし、特別セミナー「Attractive Quality」を開催いたします。競争に打ち勝つ強い企業作りのためセミナー参加をご検討下さい。

日時 2007年3月10-11日 (土日)

会場 Amari Atrium Hotel

言語 日本語をタイ語に通訳

担当連絡先: Tel. 0-2717-3000~29 Ext. 81

## ◆ 日本人専門家による特別セミナー 予告 ◆

セミナー研修部では、日本より専門家をお迎えし、顧客の声を製品やサービスの開発につなげるための手法「品質機能展開 (QFD; Quality function Deployment)」セミナー (2007年3月15-16日開催予定) ならびに、TPM 8本柱のひとつで、不良の出ない条件設定とその維持管理、不良発生の可能性を予知し事前に対策する不良ロスを防ぐ活動「品質保全」セミナー (2007年3月29-30日開催) を開催いたします。詳細確定次第ご案内させていただきますので、お見逃し無く。

◆ 計測機器の校正・環境検査部より ◆

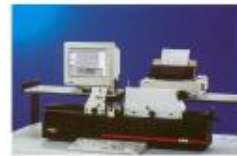
計測機器の校正・環境検査部では、全ての部門で、試験所・校正機関認証MOK17025-2543 (ISO/IEC 17025:1999)の認定を取得しています。工業計測機器校正センターでは、温度、圧力、電気、質量および重量、長さ、回転力、湿度、それぞれの計測機器の試験・校正を実施しており、タイ国内で最も校正サービスを多く実施している機関です。2,007年から、校正サービスのレベルアップならびに顧客のニーズに対応するため、下記新サービスを開始いたしました。ご利用ください。

<http://www.tpa.or.th/ce>

NEW  
SERVICES

Universal length measuring machine  
Mahr Precimar 828 PC 500

校正対象; Testing plug gages, ring gage, thread gages,  
micrometers, snap gages, gauge blocks (100 m to 500 mm) 他



Standard for Multifunction Calibrator

校正対象; Multifunction Calibrator 全 Function ならびに  
Range

例: Fluke 5500A, 5100B, 5520A, 5220A, Transmille 2041A, Wavetek  
4800A

Fixed Point Cell : Isotech : ITLM17671, ITLM17724, ITLM17669M/  
Hart Scientific : 59018 / Pond : K28C

校正対象; Standard Platinum Resistance Thermometer (SPRT)  
校正範囲: -38 oC ~ 419 oC 測定可能点: -38.834 oC (Hg), 0.01oC  
(Tpw), 29.7646 oC (Ga), 231.928 oC (Sn), 419.527 oC (Zn)



Hydraulic Dead Weight Tester : DH Budenberg 5304  
0.04 MPa to 100 MPa : Accuracy 0.005% of reading

校正対象; Dead Weight Tester up to 1000 barならびに  
Pressure Calibrator up to 1000 bar

Torque Master Torque Transducer Calibration System  
AKO (USA.) TSD 6542, TSD 125-S, TSD 225

校正対象; Torque Cell, Torque Transducer



担当連絡先 Tel. 0 - 2717 - 3000 Ext. 82



## TPA日系法人会員募集

会員の皆様には、会報「TPA News」や技術情報誌「Technology」などを通じた情報提供、および、セミナー研修、日本語コース、書籍やその他サービスの割引などの特典がございます。  
TPA会員特典を生かし、タイ人スタッフへの教育、企業研修にご活用頂きたく、ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。

日・タイ経済協力協会（JTECS）は、TPA事業に関する、日本側からの支援事業を行っております。  
東京都文京区本駒込2-12-13(アジア文化会館)  
Tel: (03) 3946-0841(代) Fax: (03) 3946-0896  
e-mail: admin@jtecs.or.jp http://www.jtecs.or.jp

# JTECS

## 編集・発行



泰日経済技術振興協会（タイ語略称：ソーソーター）  
Technology Promotion Association(Thailand-Japan)  
<http://www.tpa.or.th>

日本語でのお問い合わせは、日本人スタッフまでお願いいたします。  
Tel 02-258-0320 浅見Ext.1913 ・ 蕨内Ext.1912

## [スクンビット本館]

- 語学事業（日本語、タイ語、英語、中国語）
  - 出版事業（語学テキスト、技術書、文化本、日本語書籍からの翻訳出版を含む）
- 5-7 Sukhumvit Soi 29, Bangkok 10110 Tel. 02-258-0320 Fax. 02-662-1017



## [パタナカーン新館]



- セミナー研修事業（技術、経営など）
  - カリブレーション、水質検査事業
  - IT事業
  - 中小企業診断、診断士育成事業（タイ国工業省委託）
- 534/4 Pattanakarn Soi18, Bangkok 10250 Tel. 02-717-3000 Fax. 02-719-9481